

国家予算と向き合って

現在の業務内容

私が現在所属している主計局総務課は、国の 予算編成の舵取り役という重要な業務を担って います。国の予算は毎年8月末から12月にか け、主計局予算担当係において、各省庁の予算 要求内容を査定することになりますが、総務課 では時々の社会・経済情勢を見つつ、予算編成 全体のスケジュールを管理し、必要な指示や作 業依頼を行います。また、12月に翌年度予算の 大枠が決定すれば直ちに予算書など国会提出 資料の作成に取りかかることになりますが、総 務課はそのとりまとめもしています。その他、予 算の流用など法令に基づく各省大臣から財務 大臣への協議事項にかかる審査なども行って おり、その業務は多岐にわたっています。

主計局の魅力・やりがい

主計局の魅力としては、まずは国家予算全般 に関わる業務ですので、幅広い分野で仕事が出 来るということです。各省庁はそれぞれの所掌 する分野における政策の企画立案・実施等を 担っていますが、主計局は全省庁の政策に予算を通じて関わることができます。私も教育や外交など複数の分野の予算を担当しましたが、各分野特有の視点や考え方を知ることはとても新鮮な経験でしたし、そこで得た新たな視点で世の中を眺めると今まで見えていなかったものが見えてくることもあります。

また、予算といえば、電卓やエクセルと悪戦苦闘というイメージをお持ちかもしれませんが、各省庁との政策議論こそ予算編成の醍醐味です。「何が課題か」「何をすべきか」「何ができるか」、こうしたシンブルな問いを投げかけ、相手方の省庁と「国のあるべき姿」を議論し、上司と査定方針を固め担当予算をまとめていく過程はとてもやりがいがあります。加えて、議論の中で各省庁担当者の本音をどこまで聞き出せるか、そのための傾聴力、想像力そして忍耐力も必要なので、人としても成長できる場です。

課長補佐として

この職場には、本当に色々な職員がいて、日々、様々な意見が出てきますので、とても刺

激的で飽きない職場だと感じています。上司や部下との議論では、時に意見が食い違うこともありますが、それもひとえに風通しの良い職場であるからで、そうした環境面での積み重ねが、質の高い業務や政策につながっていくものと実感しています。

私の就職活動当時の財務省へのイメージは 堅苦しい職場という印象しか持っておらず、官 庁訪問時に、財務省の正門前に立った際には圧 倒されましたが、訪問後に抱いた印象は全く違 うものでした。是非一度、財務省の門をたたいて みて、財務省の雰囲気を感じてもらえれば幸い です。今後、一緒に仕事ができるのを楽しみにし ています。





予算を通して日本の未来を考える

現在の業務内容

私は、国の公共事業予算及び国土交通省予算を担当する公共事業総括・国土交通係において、主に港湾整備にかかる予算の編成業務を行っています。港湾整備とは、コンテナ船が着岸するための岸壁や港を守る防波堤などの整備を行うものです。

私たちのように予算編成に携わる係は「予算係」と呼ばれ、それぞれ担当する省庁の予算編成を行うことが主な業務です。例年8月末に各省庁から来年度予算の要求がなされ、12月末の来年度の政府予算案の閣議決定に向けて、およそ4か月の間、担当する予算について相手省庁の担当者と何度も何度も議論を重ね、政策の方向性やその予算の妥当性等について検討を行います。また、職員の出張費や備品費など、業務を行うための土台となる予算についても、何

のために、どのくらい購入するのかなど、必要な 内容・分量まで細かく確認し、その妥当性を検 討します。

現在の業務の魅力・やりがい

私が考える主計局の一番の魅力は、各省庁の 業務や政策を詳しく知ることができるととも に、政策をより良くするために一緒になって考え ることができるところです。これは、各省庁が政 策を実施するために必要な予算の編成を行う という主計局ならではの魅力だと思います。例 えば、私の場合、これまでの人生において「港 湾」というものを知る機会はほとんどありませ んでしたが、主計局において港湾関係予算に携 わったことで、港湾が日本の物流の要であるこ とを知り、また、その将来についても、国土交通 省港湾局の担当者と一緒に考えることができ



ました。

また、国家予算は国民生活に直接影響を与えるものであるため、世間の注目度がとても高いものです。その分、責任も大きく重圧もありますが、自分が担当した予算がニュースで大きく報じられることもあり、その点も主計局の醍醐味だと思います。

主計局概要

国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給等国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

07 第1部 財務省の業務 08



地域や市場に耳を傾けて

現在の業務内容

理財局の業務の一つとして国有財産の管理があります。国有財産である国有地は一般に想像されるよりも広く、わが国の国土の総面積約3,700万ヘクタールのうち、約4分の1(その大部分は国有林ですが)を占めています。

私の所属する国有財産情報室では、各省庁において国有財産台帳に登録が行われた国有財産の情報を毎年度国の決算として承認を得るために、集計のうえ分類し国会に報告しています。また、国有財産に関する様々な情報を、国民に対して分かりやすく提供することを業務としています。

理財局の魅力・やりがい

国民生活と身近な関係にあるものを対象の 業務としているのが理財局の魅力の一つです。 例えば、渋沢栄一翁の肖像を図柄にした新一 万円札の発行や個人向け国債の募集のほか、 皆さんのお宅や学校の近くにある様々な国有 財産を通じた、地域のまちづくりへの貢献など もその業務の範囲の一つです。なお、国有財産 の管理処分業務は、主に全国各地にある財務 局で行っていますが、理財局では、その運営の 基となる指針・通達などの策定をしているほ か、時には大規模な国有財産の新たな処理方 針を検討することもあります。

他方、理財局のもう一つの魅力として、マーケットを相手にして行われている業務もあります。例えば、国債の発行は常に国債市場と対話を重ねながら行われ、例えば、東京メトロの株式(半数が国有財産です)も株式市場の動向等を踏まえながら、理財局を中心として売却が進められていく予定です。

このように、理財局の業務は、国民生活に身近な関係にあるものやマーケットを対象としているため、その対応にはとても神経を使う部分もありますが、政策の手応えをダイレクトに感じることができるというやりがいがあります。

管理職として

財務本省の職員には、様々な採用形態・出身 地(日本の全国各地)の方々がいます。本省で 採用された方、若いうちに本省での経験を積 むために地方機関から出向してきた方、そし て、そのままずっと本省で一緒に働くことに なった方、更には各地域での経験やその知識、 実情を本省での政策検討に活かすため役職ク ラスで出向されている方など、そのライフス テージ、キャリアステータスも様々です。この ような方たちが、ときに小さな穴にはまった り、大きな壁を前に立ちすくんでいたりしたと き、私たちのように財務本省に長く席を置く者 が、これまで本省で自ら経験した失敗等を踏 まえ、「そんなの大したことじゃないよ。きっと うまくいくよ。」と、時には彼らに代わって立ち 向かい、時には支えてあげる、といったことが 管理職の役割だと思っています。



多角的な視点から日本を捉え、未来を創造する財政投融資

現在の業務内容

私は現在、理財局経済産業第二係に在籍しており、財政投融資計画の編成・執行業務を行っています。財政投融資とは、税金を用いずに国債によって調達した資金等を原資として、採算性はあるものの民間だけでは十分に対応が困難な分野に対して、国が投融資により資金を供給し、その後受益者から償還を受ける財政政策です。その中でも経済産業第二係では、政府系金融機関や、経済産業省が所管する政府系ファンド(官民ファンドと呼ばれ、国の政策に基づいて政府と民間が共同で出資する機構です。)、独立行政法人と多岐にわたる分野を担当しています。毎年8月末に各機関から財政投融資計画の提出を受けた

後、その詳細についてヒアリングを重ね、財政制度等審議会の「財政投融資分科会」という会議において外部有識者から意見聴取を行いながら、年末の閣議決定に向けて編成作業を進めます。 それに並行して、当年度の計画の進捗に応じて、 実際に各機関に投融資を実行する執行業務も行っています。

現在の業務の魅力・やりがい

財政投融資は、名前のとおり「投資・融資」です。 予算には償還という考えはなく、使用時の効果を 踏まえて先に措置されるものですが、財政投融 資は、償還額を含めた独立採算であり、そもそも 国が措置すべきなのかどうか、政策的必要性や 有効性、償還確実性はどうか、といった観点から 見極める必要があります。これらの観点から最適 な判断を下すために、担当事業について多角的 な視点から検討し、各省庁・関係機関と議論を重 ねます。その中で、事業の仕組みや、金融的な見 識など、日々様々な知識を吸収しているという手 応えを感じています。

また、政府系金融機関は現在、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小・小規模事業者の資金繰り支援に尽力しており、その財源に財政投融資が活用されています。日々の投融資の執行業務を通じて、自分の業務が国民生活に直結していることを改めて実感します。

本省ならではのダイナミズム・やりがいを感じ ながら、責任感を持って業務に打ち込んでいます。

な

理財局概要

収入支出の調整(資金繰り)を行う等、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っています。

●財政投融資

■国庫·通貨

税財源によらない国の投融資活動です。リスクが高く、民間では十 分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき 分野に対して、財投債の発行によって調達した資金等を財源とし て、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入 により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行によ り、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑 制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

●国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、 国が政策的な出資により取得した株式等、国民共有の資産です。 こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献すると ともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。

09 第1部財務省の業務



国際的な社会課題に真摯に向き合う

現在の業務内容

私の所属する参事官室は、開発途上国の経済社会の安定的発展に資するための資金協力として、円借款(低利・長期の緩やかな条件での資金貸付)や海外投融資(民間活動支援を通じた経済協力)を通じて、地球環境や貧困問題の改善に向けた取組支援などを推進しています。最近では、新型コロナウイルス感染症危機対応関連で一時的に財政が悪化した国に対し、緊急支援のための円借款供与なども行っています。

国際局の魅力・やりがい

国際局の気風を言葉で表すと「自由でエネルギッシュ」だと思います。上司も国際感覚を身につけたバイタリティのある方が多いです。若手からの意見もフラットに聴き、議論する風土があるので、積極的にチャレンジしがいがあり、また、チャレンジするほど能力が伸びる職場だと思います。

国際局参事官室の仕事は、基本的に国・地域で とに担当が決まっており、課長補佐・係長・係員の チームで案件に対応し、とりまとめ、更に上司に 諮っていきます。私の役割はいわゆる中間管理職 的な立ち位置で、全体のスケジュール等を考えな がらチームとして効率的にパフォーマンスが発揮 できるよう調整することです。

今の立場で気を付けていることは、あまり職位や担当にとらわれ過ぎないことです。仕事には繁閑もあり、人にも得手不得手、経験の差もあることを理解しながら、チームがベストパフォーマンスを発揮できるよう、時には指導的立場で、時にはプレーヤーとして、状況に応じて役割を果たしたいと思っています。上司、部下の方も皆、互いに協力しようとする意識が高く、チームワークの重要性をいつも再認識しています。

国際局の仕事は、世界情勢を念頭に置きながら、自分の業務が日本のためにも他国の支援にも繋がっていることを実感することができます。海外勤務や国際会議への出席などの経験機会もあるので、国際社会に係わることに興味のある方には是非チャレンジしていただきたいと思います。

ワークライフバランスの推進について

財務省では、ワークライフバランスについても

理解があり、仕事を充実させるため、自分の時間を大切にするように推奨されています。コロナ禍を機に、テレワークなどの働き方改革や環境整備が進んだこともあり、在宅で業務を進めることも当たり前になってきています。また、公務員全体として、ここ数年で子育てと仕事の両立支援が推進されており、女性職員の育児休業や育児時間(勤務時間を短縮する制度)などはもとより、男性職員も育児休業を多く活用しています。かくいう私も上司をはじめ周りの方のサポートを得て制度を活用した一人です。

マネジメントする立場となりましたが、今後、育児等を行う部下職員が更に働きやすい職場となるよう、自身の経験を通じて得たことを十二分に活かしていきたいと思っています。





世界の"今"を映し出す、為替相場と対峙する

現在の業務内容

為替市場課は、外国為替市場及び国際収支 (日本と外国との間で行われた経済取引)に関する調査・分析や外貨準備(為替介入等のための資産)の管理・運用等に関する業務を所掌しており、私が所属する相場係では、外国為替市場に関する業務を行っています。

国境を越えた資金移動が活発に行われている現代において、為替相場の安定は、日本に限らず、世界経済全体の健全な発展にとって必要不可欠です。

各国の経済情勢を適切に反映し、安定的な国際金融システムを維持することが財務省の使命であり、為替相場に過度な変動や無秩序な動きが見られれば、財務省として発言・発信を行

い、状況に応じて各国と協調した為替介入も実施します。

そのため、日々のマーケット動向の把握やそ の原因分析が重要な業務となります。

為替レートに影響を与えうる海外の経済指標やイベント等を確認し、日本銀行や市場関係者へのヒアリングを通じて、今後想定されるリスクや最新の外国為替市況についてまとめ、関係部署への迅速な情報共有も行っています。

現在の業務の魅力・やりがい

世界の動向をいち早く関知し、通貨当局としての意思決定の場に立ち会えることです。

刻一刻と変化する為替相場等マーケットの 動きは、今この瞬間に世界で起こっているあら ゆる事象に影響を受けます。

各国の経済指標や国際会議、中央銀行の金融政策決定会合、地政学的リスクや予測不可能な自然災害・新型感染症、そして、各国首相や大統領といった要人等の発言まで、様々な要因がマーケットを動かしています。

そのため為替市場課には、いち早く情報を収集し、迅速な対応を可能とする環境が整えられています。瞬時に更新される報道やリアルタイムに動く為替相場に触れ、時には、第一線で活躍するエコノミストの方々から意見を伺いながら世界の生の動きを体感しています。

これまで個々で見ていた事柄を包括的に見ることができるのも、相場係のやりがいであり、 魅力だと感じています。

●国際通貨政策

国際局概要

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理等により外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取り組みに参画しています。また、チェンマイ・イニシアティブやアジア債券市場イニシアティブ等の取り組みを通じて、通貨危機の予防・対処の枠組みの発展に向けたアジア地域内における地域金融協力に取り組んでいます。このほか、テロ資金供与対策や大量破壊兵器の拡散防止への資金支援などを通じた、国際金融システムの濫用の防止にも取り組んでいます。

●開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、円借款、国際協力銀行、国際開発金融機関(MDBs)を通じた支援の実施、地球環境問題、債務問題への取り組み等、開発途上国の経済・社会の安定的な発展を実現するための国際協力を推進しています。

11 第1部 財務省の業務 12



国民生活を「円滑な金融」で実現する

現在の業務内容

日本政策金融公庫や沖縄振興開発金融公庫 という金融機関を聞いたことはありませんか? 政策金融課は、政府系金融機関等を通して、

政衆金融誌は、収削来金融機関等を通じて、公益性が高いものの、民間金融機関のみでは十分な対応ができない分野(リスクの適切な評価が困難な場合等)において、金融的手法によって目的を達成する「政策金融」を所管しています。新型コロナウイルス感染症対策において、事業者等の皆様への資金繰り支援を担当している部署でもあります。

政策金融は、事業資金から教育ローンと、幅 広い分野で活用されています。一方、金融である以上、その事業の将来性等を見極めた規律ある支援が必要であり、また、公共性をもつ政策 手段である以上、民間金融機関の活動を圧迫することは避けなければなりません。 このため、様々な関係者とのバランス調整が必要となりますが、裏を返せば様々な角度から物事を分析し、解決していく力を身につけることができ、自身の成長に繋がることと思います。

大臣官房(政策金融)の魅力・やりがい

大臣官房は、財務省の内部管理、行政事務の総合調整を担当しており、政策金融課もその中の1つです。

例えば、政策金融は、財政と金融の双方の世界でバランスを取ることが必要です。そのため、予算・財政投融資のほか、金融監督・検査に関する業務に携わることができます。また、財務省だけでなく、内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省といった各省庁の政策に関する領域にまたがっており、各省庁の政策領域についても幅広く触れることができます。私が実際に

取り扱った範囲では、中小企業政策(創業から事業再生まで)もあれば、農林水産政策もあり、また教育支援や年金・共済制度に係る領域もあ

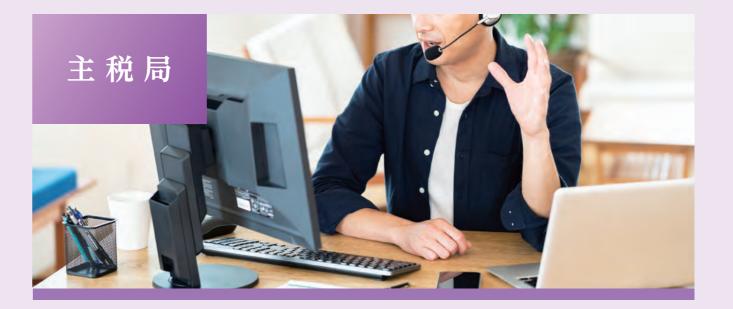
このように、予算などの財政等の各分野に特化せず、金融なども含めた幅広い政策分野に接して知見を広げてみたい方、それぞれの政策分野にわたる調整や情報の分析を行いたい方には、大臣官房での業務は、非常に魅力的でやりがいか感じられるものと思います。



【財務省の内部管理と行政事務の総合調整役】具体的には以下のような業務があります。

大臣官房概要

- ●秘書課:職員の人事・給与等
- ●文書課:国会窓口、機構·定員管理、広報等
- ●会計課:財務省の予算、庁舎管理等
- ●地方課:財務局との連絡・調整等
- 総合政策課:経済情勢の調査・分析等
- ●政策金融課:政府系金融機関の監督等
- ●信用機構課:預金保険機構の監督等



主税局は、総務課、調査課、税制第一課、税制第二課及び税制第三課の五つの課と、参事官室からなり、局長以下約190名の職員が、より良い税制を作るべく、税制の企画・立案、税制改正法案の作成や国会対応等に日々奮闘しています。税制は税務行政とも密接に関連することから、職員の7割弱を国税局や税務署出身の職員が占めているのが主税局の特徴です。

総務課では租税政策全般に関する企画・立案・租税収入の見積もり等、調査課では内国・外国税制の調査等、税制第一課では所得税・相続税等及び税務手続きに関する制度等の企画・立案、税制第二課では消費税及び酒税等の個別間接税に関する制度の企画・立案、税制第三課では法人税に関する

制度の企画・立案、参事官室では外国との租税に関する協定等の企画・立案をそれぞれ担当しています。

経済社会の構造は常に変化を続けており、税制も不断の見直しが求められます。主税局では、経済社会の変化や国際情勢を踏まえてどのような見直しが必要か、例年秋から冬にかけて集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。主税局として近年取り組んでいる課題は、働き方の多様化の進展等に対応した所得税の見直し、経済のグローバル化やデジタル化等に伴う国際課税のルールの見直し等、多岐にわたります。



税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤等の不正薬物や 銃砲、知的財産侵害物品等の密輸取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税 等の徴収等を行う行政機関です。

関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携や、IT化の推進等を行っています。

また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、世界各国との経済連携協定交渉を始め、WTO(世界貿易

機関)やWCO(世界税関機構)等における国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強化を目的とした相互支援協定の締結、途上国税関に対する制度・人材育成の支援等、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押しして

さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済 指標の一つとして国内外で活用されています。このように、関税局は国民生 活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが 深い組織であることが特徴として挙げられます。

13 第1部財務省の業務